

平成 25 年度
北秋田市教育委員会
点検・評価報告書

平成 26 年 10 月
北秋田市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、平成25年度の教育委員会の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

北秋田市教育委員会委員名簿

（平成26年3月31日現在）

職　　名	氏　　名
委　　員　　長	加　賀　隆　寛
委員長職務代理者	佐　藤　正　俊
委　　員　　員	吉　田　美　樹
委　　員　　員	小　林　　真
委員兼教育長	三　澤　　仁

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価

点検及び評価の対象年度：平成25年度

＜構成内容＞

- 1 教育委員会の会議開催状況 ······ P 3
 - 2 教育委員会の会議審議状況 ······ P 3
 - 平成25年度 教育委員会審議案件一覧
 - (1) 平成25年度 議案案件
 - (2) 平成25年度 その他案件
 - 3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】··· P 6
 - 4 主要事業点検・評価票 ······ P 7
 - 【点検・評価対象事業一覧】
 - 【事業個別点検・評価票】

1 教育委員会の会議開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員会定例会」と状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催している。平成25年度は、合計で14回開催した。

- (1) 教育委員会定例会・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・2回

2 教育委員会の会議審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、平成25年度は合計で35件について審議した。

＜平成25年度 教育委員会審議案件一覧＞

- (1) 平成25年度 議案案件

議案番号	件 名	提出年月日
H25年 18	北秋田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	H25. 4. 25
19	北秋田市児童生徒就学援助費支給要綱の全部を改正する要綱の制定について	H25. 4. 25
20	北秋田市教育委員会教育委員長の選挙について	H25. 5. 14
21	北秋田市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について	H25. 5. 14
22	北秋田市教育委員会教育長の任命について	H25. 5. 14
23	北秋田市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について	H25. 5. 29
24	北秋田市立学校遠距離通学児童生徒スクールバス及びスクールタクシー利用要綱の制定について	H25. 5. 29
25	北秋田市指定文化財の指定について	H25. 6. 27
26	北秋田市スポーツ推進委員の委嘱について	H25. 7. 25
27	専決処分の報告について（工事請負契約（合川中学校屋外教育環境施設整備工事）の締結について）	H25. 8. 29
28	工事請負契約の締結について（合川小学校建設工事）	H25. 8. 29
29	北秋田市芸術文化奨励賞授与規程の一部を改正する規程の制定について	H25. 8. 29

議案番号	件 名	提出年月日
30	北秋田市芸術文化功労者表彰規程の一部を改正する規程の制定について	H25. 8. 29
31	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	H25. 8. 29
32	北秋田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	H25. 10. 31
33	北秋田市立小中学校事務共同実施組織運営規程の制定について	H25. 10. 31
34	北秋田市立小中学校事務共同実施推進協議会設置要綱の制定について	H25. 10. 31
35	北秋田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について	H25. 11. 28
36	北秋田市営スキー場条例の一部を改正する条例の制定について	H25. 11. 28
37	消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	H25. 11. 28
38	北秋田市立幼稚園条例を廃止する条例の制定について	H25. 12. 26
39	北秋田市立幼稚園管理規則を廃止する規則の制定について	H25. 12. 26
H26年 1	北秋田市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	H26. 1. 30
2	北秋田市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について	H26. 1. 30
3	北秋田市奨学資金貸付条例施行規則の全部を改正する規則の制定について	H26. 1. 30
4	北秋田市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	H26. 1. 30
5	北秋田市立小中学校給食調理場条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	H26. 1. 30
6	北秋田市文化会館管理規則の一部を改正する規則の制定について	H26. 1. 30
7	北秋田市浜辺の歌音楽館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H26. 1. 30
8	北秋田市交流センター管理規則の一部を改正する規則の制定について	H26. 1. 30
9	北秋田市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の施行に関する教育委員会規則の一部を改正する規則の制定について	H26. 2. 26
10	県費負担教職員の内申について	H26. 3. 5
11	北秋田市教育委員会後援等の名義使用に関する事務取扱要綱の制定について	H26. 3. 20

議案番号	件 名	提出年月日
12	北秋田市社会教育委員の委嘱について	H26. 3. 20
13	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	H26. 3. 20

※ 議案番号は、暦年による一連番号を付した。

(2) 平成25年度 その他案件

番号	件 名	提出年月日
1	議会第1回臨時会提出補正予算（第1号）について	H25. 4. 25
2	平成25年度教育委員会機構図及び各課の事務分担について	H25. 4. 25
3	小中学校の運動会の日程について	H25. 4. 25
4	9月議会定例会提出補正予算（第4号）について	H25. 9. 26
5	議会第4回臨時会提出補正予算（第6号）について	H25. 10. 31
6	12月議会定例会提出補正予算（第7号）について	H25. 12. 26
7	卒業（卒園）式、入学式の日程について	H26. 1. 30
8	3月議会定例会提出補正予算（第8号）について	H26. 2. 26
9	平成26年度当初予算（課別集計表）について	H26. 2. 26
10	平成26年度教育委員会人事異動について	H26. 3. 20
11	入学式の日程について	H26. 3. 20

3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成 25 年度における教育委員会の当初予算は 24 億 7,415 万 3 千円であったが、11 億 7,748 万 3 千円の増額補正となり、繰越明許費が 1 億 3,889 万 4 千円、予備費支出及び流用で 378 万円増額し、合計が 37 億 9,431 万円となっている。これは、前年度予算と比較して 8 億 9,029 万 1 千円、割合にして約 31% 増加しており、また、一般会計に占める教育費の割合は約 14% で、前年度に比べ約 3 % 増加している。教育費が増加した主な要因としては「米内沢小学校校舎等建設事業」「合川小学校校舎等建設事業」が挙げられる。

平成 25 年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、別紙のとおり 82 事業において実施した。各事業の採点による点検・評価結果の主な内容は次のとおりである。

「有効性」については、「放課後子ども教室推進事業」「学校支援地域本部事業」等、9 事業において期待以上の成果が得られたと評価された。

「費用対効果」については、「外国青年招致事業」「学校生活サポート事業」等、7 事業において期待以上の成果が得られたと評価された。

「必要性」については、50 事業が「必要不可欠」と評価され、全体の 60% を占めた。

「方向性」については、4 事業において「廃止・休止」と評価されているが、このうち 3 事業は単年度実施事業であった。しかし「幼稚園運営事業」については、昨年度末で当市唯一の公立幼稚園「たかのす幼稚園」の閉園に伴い、本事業も終了となった。共働きの子育て世帯が増加している昨今、保育園のニーズが高まっているため、今後の就学前児童の教育については保育園が担う役割が大きくなっている。併せて、各家庭・各地域においても子ども達を安全に、安心して見守ることができる環境づくりに努めていくため、家庭教育支援事業を充実させなければならない。

これら点検・評価の対象となっている事業は大きく 2 種類に分けられる。1 つは「米内沢小学校校舎等建設事業」「阿仁ふるさと文化センター屋根改修工事事業」等の、緊急に行う必要がある事業。これに対し、もう一方は「各地区公民館管理事業」「スキー場・プール指定管理事業」等、利用者のために毎年度実施している事業である。今後、人口減少・児童生徒の減少が予想される中、これら教育委員会が多数実施している「必要不可欠」な事業を、限られた予算で高い成果を上げることができるよう、事業内容を精査し、より良い事業になるよう取り組んでいくことが課題である。

また、平成 26 年度中に「合川小学校建設事業」及び合川・森吉・阿仁の 3 地区統合の「学校給食センター建設事業」が完了する予定となっているほか、「伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設建設事業」、「生涯学習交流施設建設事業」等、大きな施設建設事業が今年度より動き出している。さらに、平成 25 年度に初めて参加した「チャレンジデー」では、市民の参加率が思うように伸びず苦慮したが、平成 26 年度は前回の反省を活かし、地域が一体となって取り組めるよう声かけを行った結果、前回に比べ大幅な参加率アップを記録することができた。

平成 27 年度には教育委員会制度改革を控え、これから日本の教育が大きな変革を迎えるようとしている。そんな中、北秋田市教育委員会としても、子どもから高齢者まで、文化・スポーツ等幅広い分野における「北秋田市の教育」の発展に努めていきたい。

平成 26 年 10 月 31 日

北秋田市教育委員会

4 主要事業点検・評価票

【点検・評価対象事業一覧】

●総務課

No.	事業名	No.	事業名
1	幼稚園就園奨励費補助金事業	7	米内沢小学校校舎等建設事業
2	すこやか子育て支援事業費補助金事業	8	合川小学校建設事業
3	あきたリフレッシュ学園事業	9	学校給食センター建設事業
4	小学校パソコン導入事業	10	小学校校舎等内外改修補修事業
5	中学校パソコン導入事業	11	中学校校舎等内外改修補修事業
6	幼稚園運営事業	12	小中学校空調設備設置事業

●学校教育課

No.	事業名	No.	事業名
13	学校救急体制整備事業	22	総合学習補助事業
14	学校生活サポート事業	23	児童生徒大会派遣費補助事業
15	学校保健事業	24	教育センター事業
16	外国青年招致事業	25	不登校児童生徒対策事業
17	学校安全整備事業	26	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業
18	遠距離通学費補助事業	27	学校評議員制度推進事業
19	スクールバス運行事業	28	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
20	小学校備品整備事業	29	フッ素洗口事業
21	中学校備品整備事業		

●生涯学習課

No.	事業名	No.	事業名
30	少子化対策・子育て支援事業	49	学童保育施設整備事業
31	(仮称)生涯学習交流施設建設事業	50	放課後児童健全育成事業
32	高齢者教育事業	51	放課後子ども教室推進事業
33	婦人学級開設事業	52	学校支援地域本部事業
34	新成人事業	53	青少年育成事業
35	日本語教室開催事業	54	文化会館管理事業
36	阿仁ふるさと文化センター屋根改修工事事業	55	文化会館改修事業
37	公民館を中心とした社会教育活性化支援事業	56	みちのく子ども風土記館管理事業
38	子どもふるさと交流支援事業	57	浜辺の歌音楽祭開催事業
39	公民館講座開設事業	58	浜辺の歌音楽館運営事業
40	花いっぱい運動推進事業	59	文化祭開催事業
41	農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業	60	旧根子小学校解体工事事業
42	陶芸ハウス管理事業	61	史跡伊勢堂岱遺跡環境整備事業
43	あいターミナル管理運営事業	62	胡桃館遺跡埋蔵資料館管理事業
44	農村環境改善センター（合川公民館）管理事業	63	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業
45	コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業	64	文化財保護事業
46	ふるさと文化センター管理事業	65	縄文まつり開催事業
47	交流センター管理事業	66	北秋田市民俗芸能大会事業
48	図書館事業		

●スポーツ振興課

No.	事業名	No.	事業名
67	合川野球場トイレ改修工事事業	75	夏井昇吉旗争奪柔道大会補助事業
68	鷹巣陸上競技場トラック補修工事事業	76	北秋田市スポーツ少年団補助事業
69	北秋田市民プール指定管理事業	77	北秋田市・上小阿仁村ミニバスケットボール大会補助事業
70	薬師山スキー場指定管理事業	78	全県選抜高等学校柔道大会補助事業
71	北秋田市体育協会補助金事業	79	北秋田市民水泳大会補助事業
72	北秋田市スキー大会補助金事業	80	小・中学校バスケットボール大会補助事業
73	100キロチャレンジマラソン大会補助事業	81	第37回全県選抜高校女子ソフトボール選手権大会補助事業
74	第34回県民歩くスキーのつどい補助事業	82	チャレンジデー2013実行委員会補助事業

【事業個別点検・評価票】

有効性・・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

1	幼稚園就園奨励費補助金事業		主管 課	総務課		
	決算額	1,768 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		幼稚園に通園させている保護者の方で一定の要件に該当する方に、授業料支払いによる経済的負担を軽減するため、所得状況に応じ授業料等の減免を行っている。				
		<p>少子化対策事業の1つとして、北秋田市内在住で市立幼稚園においては4歳児、5歳児、私立幼稚園においては満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児を通園させている方で一定の要件に該当する方に対し、平成25年度は22人、1,768,120円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>一部、国庫補助金を充当しており、事業へのニーズも高いが、所得状況により補助額が変動するため、不況下である昨今、事業費が増加しつつある。</p> <p>なお、北秋田市立たかのす幼稚園の閉園に伴い、本事業は平成26年度より健康福祉部福祉課に移管となった。</p>				

2	すこやか子育て支援事業費補助金事業		主管 課	総務課		
	決算額	445 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		社会全体で子育てを支えていくとの考え方の下、子どもの幼稚園への入園等に伴う子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、生活基盤の弱い世帯が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。				
		<p>幼稚園就園奨励費補助金事業によって減免される分を除き、幼稚園に在園する幼児並びに保護者が北秋田市の住民で、保護者又は扶養者の所得が制限内である方に対し経済的補助を行った。平成25年度は13人の対象児童、444,937円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>一部、県補助金を充当しており、事業へのニーズも高い。</p> <p>なお、北秋田市立たかのす幼稚園の閉園に伴い、本事業は平成26年度より健康福祉部福祉課に移管となった。</p>				

3	あきたリフレッシュ学園事業			主管 課	総務課	
	決算額	9,831 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			3	2	2	4
	活動 内容	北秋田市内・市外在住を問わず、人間関係の悩みやストレスを抱え、心の問題に悩む全国の子どもたちを対象に、自然体験や物作り体験など、さまざまな体験活動を通して心と体のリフレッシュを図る機会を提供する。				
点検・評価	今年度は16人の小・中学生が197日間利用した。在園した中学3年生7人全員が希望高校に入学し、元気に高校生活を送っている。また、在園した児童・生徒の中には学校復帰や学校と学園を行き来できるようになっている子どももあり、学園の存在意義は高い。			北秋田市の「さわやか教室」や市内各学校との連携も図りながら、事業を展開していくことが必要である。また、一部県委託費を充当しており、平成28年度に県が同様の施設の設置を検討しており、その動向を見極めながら事業を継続する必要がある。		

4	小学校パソコン導入事業			主管 課	総務課	
	決算額	(賃借料) 34,399 千円 (保守料) 10,509 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。				
点検・評価	パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティの向上も図られた。			平成26年度から複数年かけて北秋田市内の全小・中学校にタブレット型PCの導入を予定しており、今後コンピュータ機器を活用した幅広い授業展開が期待される。		

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

5 中学校パソコン導入事業			主 管 課	総務課		
	決算額	(賃借料) 10,229 千円 (保守料) 5,468 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内 容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。				
点検・評価	<p>パソコンの入れ替えは、5年間のリース期間（保守契約を含む。）満了後、3年間の保守契約期間を経て8年更新で実施しており、平成25年度は入れ替えが無かった。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。</p> <p>平成26年度から複数年かけて北秋田市内の全小・中学校にタブレット型PCの導入を予定しており、今後コンピュータ機器を活用した幅広い授業展開が期待される。</p>					

6 幼稚園運営事業			主 管 課	総務課		
	決算額	4,404 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	1	1	1
	活動 内 容	北秋田市立たかのす幼稚園において、家庭との連携を図りながら、幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して生きる力の基礎を育成し、義務教育及びその後の教育の基礎を培う。				
点検・評価	<p>北秋田市立たかのす幼稚園では、①豊かな心をもち、意欲的に活動する子どもの育成、②健康な心と体を育てるための環境構成を重点目標として、5歳児4人の幼児を対象に、様々な遊びをとおして健康な心と体の育成や自立心・人とかかわる力の育成、学習意欲の向上を図った。</p> <p>近年の少子化や共働き夫婦の増加等の影響から園児が減少しており、平成25年度末をもって閉園となったため、本事業は平成25年度で終了。</p>					

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

7	米内沢小学校校舎等建設事業			主管課	総務課	
		決算額	114,111 千円	有効性	費用対効果	必要性
	2	2	3	4		
活動内容	米内沢小学校の新校舎は竣工し、平成24年度11月から実際に新校舎利用を開始したが、その新校舎の周辺環境整備を行った。					
点検・評価	<p>委託業務としては、樹木管理業務、確認申請業務、工事監理業務の各業務について委託を行った。</p> <p>工事としては、米内沢小学校旧校舎の解体工事を行ったほか、倉庫の改築工事、外構工事を実施した。これらの工事が完了し米内沢小学校新校舎周辺の屋外環境が整備された。</p> <p>これらにより、校舎周辺環境を含む、児童が学びやすい新しい米内沢小学校が完成した。</p>					

8	合川小学校建設事業			主管課	総務課	
		決算額	410,148 千円	有効性	費用対効果	必要性
		2	2	3	4	
活動内容	平成27年4月に合川地区の合川東小学校・合川小学校・合川北小学校の3つの小学校統合により新設される合川小学校新校舎竣工に向け、委託及び工事等の施工により、学習活動に必要な環境の整備を図る。					
点検・評価	<p>平成26年度中の完成を目指す合川小学校建設事業の工事に着手した。</p> <p>平成25年度は、建設用地造成工事を実施後、小学校建設工事(2ヶ年事業)に着手。また、屋外教育環境施設整備工事を実施した。</p> <p>委託事業としては、小学校と部室棟の確認申請業務及び設計監理・工事監理業務を行った。</p>					

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

9	学校給食センター建設事業			主管課	総務課	
	決算額	15,519千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動内容	平成27年4月の合川地区小学校統合に合わせ、合川地区・森吉地区・阿仁地区の各給食施設を一か所に集約し新たな給食施設の設置・運営を目指すもの。				
	点検・評価	新しい給食施設建設に向けた建物の設計が完了し、工事発注の準備を整えた。				

10	小学校校舎等内外改修補修事業			主管課	総務課	
	決算額	44,683千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			3	3	3	4
	活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心で快適な学習環境の整備を図る。				
	点検・評価	平成25年度は、鷹巣小学校ポーチ屋根防水改修工事、阿仁合小学校キューピックル機器改修工事、鷹巣南小学校屋外排水設備改修工事、大阿仁小学校油配管改修工事、綴子小学校昇降口前舗装補修工事、大阿仁小学校プールろ過装置移設工事、前田小学校体育館軒天井張替工事等、44件の工事を実施した。校舎や学校周辺設備等の改修等については、子どもの安全を第一に考え、事案が発生した場合は出来る限り迅速に対応するようしているが、各学校施設とも老朽化が進み、年々改修箇所件数が増加傾向にある。				

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

11 中学校校舎等内外改修補修事業				主管課	総務課						
	決算額	24,194 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性					
			3	3	3	4					
	活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心で快適な学習環境の整備を図る。									
点検・評価	平成25年度は、鷹巣中学校防災盤改修工事、鷹巣南中学校自転車置場改修工事、鷹巣中学校・鷹巣南中学校車庫シャッター改修工事、合川中学校格技場雨漏補修工事、森吉中学校体育館及び格技場渡廊下屋根雨漏補修工事等、21件の工事を実施した。										
	校舎や学校周辺設備等の改修等については、子どもの安全を第一に考え、事案が発生した場合は出来る限り迅速に対応するようにしているが、各学校施設とも老朽化が進み、年々改修箇所件数が増加傾向にある。										

12 小中学校空調設備設置事業				主管課	総務課						
	決算額	26,455 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性					
			3	2	2	1					
	活動内容	近年の夏季における猛暑対策として、各小・中学校に冷房設備や冷房備品を配備した。									
点検・評価	平成25年度単年度の事業として、各学校に冷房設備の設置工事を行ったほか、冷房備品として扇風機を配備した。										
	近年、毎年異常とも呼べる猛暑が続き、全国各地の小中学校において児童・生徒が熱中症で病院に搬送されるという事案が相次いでいる。北秋田市的小・中学校においても子どもの安全・体調管理を第一に考え、快適な学習環境整備に取り組んだ。										

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

13	学校救急体制整備事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	998 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	2	2	2	4		
活動 内 容	AED（自動体外式除細動器）を各小中学校に設置及び配置することにより、万が一の事態に備え、心臓突然死の減少に繋げることを目的とする。					
点検・評価	AED（自動体外式除細動器）は市内各小中学校に配置済みである。 昨年度は使用期限の迫ったバッテリ及びパドルを交換した。 平成25年度は、中学校付近に住んでいる住民のために1度使用した。 万が一の事態に備え、事業の継続は必要である。					

14	学校生活サポート事業（特別支援）			主 管 課	学校教育課	
	決算額	32,235 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	3	3	3	3	5	
活動 内 容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍している学校に対し、支援員を配置し、学校生活全般にわたって対象児童生徒及び学級担任の支援を行う。					
点検・評価	平成25年度は、障害児支援において24人（15校）の支援員を配置し、生活支援や学習支援等を行った。 対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒や学級担任にとっても大きな成果となっている。 今後は、児童生徒の自立に向けた支援方法、進路指導の在り方についての研修の充実を図っていく必要がある。					

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

15	学校保健事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	15,478 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	2					
	活動 内 容 健康診断の実施により、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に結びつける。					
	点検・評価 各校において、健康診断後の事後指導も継続して行われており、学校保健安全法に基づく本事業の継続は必要である。					

16	外国青年招致事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	18,275 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	2					
	活動 内 容 ALT を 5 人配置し、小学校における外国語活動及び中学校における英語教育と国際理解教育の充実に資する。					
	点検・評価 平成 23 年度から小学校において外国語活動が本格的に導入されることを受け、平成 21 年度より市内の小学校へも派遣している。 各中学校区に 1 人の ALT を配置することにより大きな成果がみられ、この体制での事業継続が望まれる。					

17	学校安全整備事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	261 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	2					
	活動 内 容 子ども達が安心して登下校できるよう、安全対策として新入児童生徒に防犯ブザーを配布する。					
	点検・評価 市内小学校の新入児童には他団体から防犯ブザーの寄贈があったため、平成25年度は市内 5 中学校新入生徒274人に対し、防犯ブザーを配布した。 万が一の安全対策として、事業の継続は必要である。					

有効性 · · · · 1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果 · · · 1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性 · · · · 1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性 · · · · 1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

18 遠距離通学費補助事業			主 管 課	学校教育課		
	決算額	4,142 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内 容	小学校4km以上、中学校6km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関を利用する児童生徒に定期券相当額を補助する。				
	点検・評価	学校生活時間に合う利用可能な時間帯で運行している路線バスを使って、47人（小3校、中3校）が登下校に利用しており、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから、今後も継続が必要な事業である。				

19 スクールバス運行事業			主 管 課	学校教育課		
	決算額	45,453 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内 容	遠距離通学者の登下校の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行することで、児童生徒の円滑な就学と安全・安心の確保に資する。				
	点検・評価	直営バス10台、委託バス2台、委託スクールタクシー2台により318人（小9校、中5校）が登下校に利用しており、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから、今後も必要な事業であるが、直営バスの運転手の確保など、運行に係る諸問題も多く抱えている事業でもある。				

20 小学校備品整備事業			主 管 課	学校教育課		
	決算額	8,660 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			3	2	3	5
	活動 内 容	各小学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。				
	点検・評価	教育予算減の中で、各校工夫しながら事業が展開されている。今後も継続しながら活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

有効性・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

21	中学校備品整備事業	主 管 課	学校教育課			
	決算額	6,724 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			3	2	3	5
活動 内 容	各中学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。					
点検・評価	教育予算減の中で、各校工夫しながら事業が展開されている。今後も継続しながら活力ある学校づくりに結びつける必要がある。					

22	総合学習補助事業	主 管 課	学校教育課			
	決算額	900 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
活動 内 容	総合的学習時間において、それぞれの学校で特徴を活かしながら取り組んでいる。 主な内容は、農園作業、花いっぱい運動、地域との交流学習、校外学習等である。					
点検・評価	各校で行われる体験活動等に補助することで、特色ある教育活動を行うことができた。					

23	児童生徒大会派遣費補助事業	主 管 課	学校教育課			
	決算額	9,187 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
活動 内 容	全県大会以上の大会に出場する児童生徒・引率者に、交通費、宿泊費及び参加料を補助し、児童生徒の知育・体育・德育の伸長と健全育成を図る。					
点検・評価	上位大会出場という目標を持って、市内の児童生徒、学校の教職員は活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効と思われる。 なお、平成26年度からはスポーツ少年団への移行により、補助対象等の再検討が必要となる。					

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

24 教育センター事業	4,817 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田市の教育に関する調査・研究、教育関係者の研修を行い、教育の振興を図る。また、北秋田市の学校教育の基本理念の具現化を目指す。				
点検・評価	<p>児童生徒一人一人に「自ら学び自ら考える力」、「これから社会を主体的に、創造的にたくましく生きる力」を身に付けさせるための研修を推進した。</p> <p>各校のミドルリーダーとして活躍する教務主任・研究主任・生徒指導主任などが社会の変化や様々な教育課題に適切に対応することができるよう、充実した研修を計画・実施している。</p> <p>また、授業研究会や学力向上対策の協議から「分かる・できる・魅力ある授業実践」に取り組み、言語活動の充実を意識した授業改善を推進するため支援している。</p>				

25 不登校児童生徒対策事業	1,393 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田さわやか教室に指導員1人を配置し、生活支援や個別に学習支援を必要とする児童生徒への支援を図る。				
点検・評価	<p>体験で2人の生徒が通級したが、継続的ではなかった。</p> <p>所属校と連絡を密にし、個別指導や再登校への支援を行った。</p> <p>学校からの課題プリントや英語学習を行い、徐々に学習への意欲がみられるようになった。</p> <p>1人の生徒は12月より別室登校で学校に行くようになり、保護者と連絡を取り合い復帰を支援した。</p> <p>児童生徒の保護者の状態に合わせて援助を行い、社会的自立に向けても支援していきたい。</p>				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

26 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業	主 管 課	学校教育課			
決算額	24,443 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
活動 内 容	経済的に困難な保護者や特別支援学級に就学する保護者に対し、学用品費等・医療費・学校給食費を援助することで児童生徒の就学を支援する。				
点検・評価	平成25年度は、要保護認定者19人、準要保護認定者268人、特別支援認定者18人の児童生徒の保護者に対して、区分に応じた援助を行った。 児童生徒数が減少している中、様々な理由により事業への申請率は年々増加しており、事業の継続が強く求められている。				

27 学校評議員制度推進事業	主 管 課	学校教育課			
決算額	345 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
活動 内 容	学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりをより一層推進する観点から、学校に学校評議員を置くことができることにした。 学校評議員は、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べができる。				
点検・評価	開かれた学校づくりを推進し、学校、保護者、地域が一体となった学校経営に資することができた。				

28 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	主 管 課	学校教育課			
決算額	96 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
活動 内 容	スクールガードリーダーが、学校やその周辺を巡回し、不審者対応や危険箇所の確認と改善指導、学校安全ボランティアに対する指導・助言等の取り組みを実施。 平成25年度は、スクールガード養成講習会を1回開催した。				
点検・評価	今後も地域において警察署等の関係機関と連携を図りながら、協力して子ども達の安全を守る体制づくりを進めて行きたい。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

29 フッ素洗口事業	425 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	市内全小中学校において、希望者を対象としてフッ素洗口を実施する。				
点検・評価	<p>学校保健統計調査によると、本県の子どもたちの虫歯の本数が全国平均を大きく上回るなど、歯の健康は決して好ましい状況にはない。</p> <p>フッ素洗口は、週に1回程度の実施でも長期にわたって継続することで虫歯予防に大きな成果が現れると言われており、本市においても希望者を対象に事業を展開している。まだ希望していない児童生徒も少数いるが、各学校において事業の趣旨や成果を周知することで、近い将来すべての児童生徒が実施し、虫歯予防に役立てるよう事業を展開したい。</p>				

30 少子化対策・子育て支援事業	1,606 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>家庭教育支援事業として、保育園・幼稚園・小学校・中学校が実施した「家庭教育講座」の実施に対し経費を支援した。</p> <p>講座の内容は、親や祖父母、園児・児童・教職員を対象に、「親子のふれあい・命の授業・絵本・情操教育等」のほか各課題に沿った内容で開催した。</p> <p>また、北秋田市子ども会育成連合会に補助金を交付し、子ども会の事業の体験活動などを通してふるさとを愛する心の醸成に努めた。</p>				
点検・評価	<p>幼・保で6講座、小学校で8講座、中学校で1講座で計15の「家庭教育講座」が実施された。少子化に伴い家庭教育の重要性を認識し、今後中学校での家庭教育講座開催も増すなど、充実を図っていきたい。</p> <p>また、北秋田市子ども会育成連合会では、子どもたちの交流や親子参加型の事業を推進しており、地域で子どもを育てる活動の支援を継続していくたい。</p>				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

31	(仮称)生涯学習交流施設建設事業			主管課	生涯学習課	
	決算額	44,251千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	活動内容					
	中央公民館の老朽化に伴い、公民館機能と憩い、交流・賑わいをコンセプトとした（仮称）生涯学習交流施設を建設する。 中心市街地の活性化を図る拠点施設として、利活用検討委員会を組織し市民の声を集約しながら取り組みを進めている。 • プロポーザル選定委員 • (仮称) 生涯学習交流施設設計業務委託 • (仮称) 生涯学習交流施設地質調査業務委託					
	点検・評価					
	(仮称) 生涯学習交流施設利活用検討委員会は、先進地視察を含め8回の会議を開催し、施設の利活用について協議した。 今後は市民ワークショップを開くなど、市民の意見や提言を集約し、市民協働で賑わいの創出を図っていきたい。					

32	高齢者教育事業			主管課	生涯学習課	
	決算額	775千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	活動内容					
	市内4地区（鷹巣・合川・森吉・阿仁）で、高齢者の学びの機会を充実させることで、いきがいづくりや仲間づくりなど地域の活性化に努めた。 • 入学、開講式・全体講座・移動研修・卒業・閉講式 • クラブ活動や学園祭（鷹巣地区のみ）などの活動が行われ学習意欲を高めた。					
	点検・評価					
	各高齢者大学では、各種講座や移動研修、クラブ活動などを通して、楽しみながら学ぶ意欲や交流の輪が広がった。 また、学んだことの発表の場や交流の場は、新たな生きがいや新しい自分の発見に繋がるとともに、学びの継続と学んだ成果を地域のボランティア活動に生かしていただくよう推進に努めた。					

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

33 婦人学級開設事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	63 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動 内 容	各地域のよりよい環境づくりや行事の参画、青少年の育成などで活動する婦人団体へ学習支援・援助に努めた。				
点検・評価	<p>鷹巣地区の17婦人学級のうち、5学級で8学習会を開催した。内容は、ひな祭りにちなんだ料理教室のほか、軽スポーツ、手芸、環境・エネルギー問題等各婦人学級の課題に沿った学習会を開催した。</p> <p>年々高齢化や会員減などにより、学習会開催が少なくなってきたことが課題となっているが、地域及び会員の交流として継続していくよう支援していきたい。</p>				

34 新成人事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	730 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動 内 容	<p>成人式は、対象を市内在住者及び市内中学校を卒業した者とし、記念式典、記念講演（公演）、記念写真撮影を行い、新成人をお祝いした。</p> <p>また、事前に新成人の実行委員会を組織し、「はたちのメッセージ集」の作成や受付など協力を得ながら対応した。</p>				
点検・評価	<p>新成人を祝福し、激励する式典を挙行し、市内在住者や市内中学校卒業者を対象とすることで、故郷を離れた新成人が郷土の良さを見直すきっかけづくりに努めた。</p> <p>成人者が積極的に成人式の準備にかかわるよう、呼びかけや取り組みを継続し、若者の交流の機会にもなるよう努めた。</p>				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

35	日本語教室開催事業			主管課	生涯学習課	
	決算額	422 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動内容	外国から嫁いだお嫁さんなどを対象に、日本語習得のためのサポートに努めた。				
	点検・評価	定住に必要不可欠な日本語の実践能力を向上させるため、参加者のレベルに合わせ3コースを設定し、講師と指導ボランティアが細かな指導を行っており、その成果で生涯学習事業への参加もみられ、地域とのつながりも出てきた。				

36	阿仁ふるさと文化センター屋根改修工事事業			主管課	生涯学習課	
	決算額	15,162 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活動内容	阿仁公民館の屋根の老朽化が進み、アスファルトシングル、アスファルト露出防水、トップコート仕上げなどの、屋根の雨漏り防水改修工事を実施した。				
	点検・評価	屋根の防水葺き替え改修工事が終了し、利用者の安全・安心にもつながった。				

37	公民館を中心とした社会教育活性化支援事業			主管課	生涯学習課	
	決算額	1,001 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活動内容	地域における様々な課題に対し、地域独自の取り組みをとおして、地域のきずな、地域のコミュニティの再生及び地域活性化を図るものである。				
	点検・評価	市民がみずから学ぶ姿勢が学びあいの大切さへつながり、学んだことを活かしたいという「新たないきがい」づくりへ発展してきたと考えられる。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

38 子どもふるさと交流支援事業			主 管 課	生涯学習課			
決算額	769 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性		
		2	2	2	5		
活動 内 容		秋田北鷹高校家庭クラブ員と三重県相可高校食物調理科生徒(高校生レス トラン「まごの店」)との交流や交流セレクションに参加の全国の高校生と の交流を図った。 合川中学生が岩手県山田町を訪問し、合川地区の伝統行事「まと火」を通 して、山田町の方々と交流を図った。					
点検・評価		三重県相可高校食物調理科の生徒や全国から集まった多くの高校生との 交流を通じ、地元の特産品を活用した商品の開発をし地域貢献に向けて大き な成果をあげることができた。 「合川まと火」を実演し、被災地の住民や子どもたちを元気付けることが でき、人のために何かをするボランティア活動の大切さを学んだ。					

39 公民館講座開設事業			主 管 課	生涯学習課			
決算額	4,400 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性		
		2	2	2	4		
活動 内 容		趣味・教養・課題解決のための講座など、市民の学びの機会として充実に 努めた。また、学んだことを生かして地域活動に生かし、より良い地域づくりへの参加の啓蒙に努めた。					
点検・評価		公民館ごとに講座が実施され、身につけた知識や教養を「生涯学習フェス タ」、「文化交流のつどい」等で発表するなど、順調に学びの成果がみられた。 今後も、自主サークルの活動や学校支援地域本部事業への参加、ボランティア活動などにつながるよう支援に努めていきたい。					

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

40	花いっぱい運動推進事業	410 千円	有効性	費用対効果	必要性	生涯学習課	
			2	2	3	4	
活動内容	花いっぱい運動推進協会が推進する、北秋田市花だんコンクールの開催、花の種子の各団体への配布、花だんづくりの講習会の開催など、市の環境美化運動の支援に努めた。						
点検・評価	<p>協議会の主催する「花だんコンクール」には婦人会や高齢者グループなど、8個人、14団体、計22件の応募があった。</p> <p>参加団体数は横ばいであるが、花を育てることや環境美化運動により心を豊かにする活動として、市内全域での取り組みを呼びかけていきたい。</p>						

41	農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業	26,608 千円	有効性	費用対効果	必要性	生涯学習課	
			2	2	2	4	
活動内容	公民館の施設整備として、綴子公民館、沢口公民館、七日市公民館のトイレの洋式化改修工事を実施し、施設利用者の利便性向上に努めた。						
点検・評価	鷹巣地区公民館のうち、今回綴子公民館、沢口公民館、七日市公民館のトイレの様式化改修工事を実施し、施設利用者の快適性の向上が図られた。施設の老朽化が顕著のため施設整備を年次計画で継続していきたい。						

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

42 陶芸ハウス管理事業	741 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	2	4
活動内容	陶芸ハウスの利用について、施設の利活用の充実を図るため維持補修を実施した。				
点検・評価	<p>ひまわり陶芸ハウスでは、トイレ等の給水修繕工事を実施し施設の整備を実施した。</p> <p>市民が気軽に参加できる陶芸教室など、講座の企画を検討していきたい。</p> <p>他の施設では陶芸窯の更新時期に来ており、鷹巣、森吉など市の陶芸施設計画の検討が必要となっている。</p>				

43 あいターミナル管理運営事業	1,636 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	1	2	4
活動内容	合川公民館で管理運営の対応し、現在は「くまげらネット」の協力で、パソコン講座を実施し施設の活用を図っている。				
点検・評価	施設の利用について、パソコン講座以外にその他の利用が少ないので、内陸線関係者、商工観光担当などと連携し、建物全体の活用の検討が必要である。				

44 農村環境改善センター（合川公民館）管理事業	8,736 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	合川公民館施設の整備充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。				
	<漏水修理・高所照明取替え他 254,837 円>				
点検・評価	陸上オイルタンクの設置や非常照明器具等の修繕を行い、利用者の安全確保と施設の環境が整備された。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

45	コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業		主管課	生涯学習課	
	決算額	10,293千円	有効性	費用対効果	必要性
			2	2	3
	活動内容	森吉公民館施設の整備充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。 <畳取替・非常用発電機修理他 928,526円>			
	点検・評価	非常用発電機や非常照明器具等の修繕を行い、利用者の安全確保と施設の環境が整備された。			

46	ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業		主管課	生涯学習課	
	決算額	7,905千円	有効性	費用対効果	必要性
			2	2	3
	活動内容	阿仁公民館施設の整備充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。 <エアコン修理・街灯ポール基礎修理 546,210円> <阿仁公民館管理費 7,358,790円>			
	点検・評価	屋根の雨漏り工事や非常照明器具等の修繕を行ったことにより、利用者の安全が確保され施設の環境が整備された。			

47	交流センター管理事業		主管課	生涯学習課	
	決算額	14,327千円	有効性	費用対効果	必要性
			2	2	2
	活動内容	市民の交流の場・活動の拠点として活用されており、管理委託・清掃委託及び各種保守点検委託をするなど、施設の維持管理を実施した。			
	点検・評価	施設の利用については、市外からの利用もあり、地域活動の場として活用されている。 建物やボイラーなどの機械関係の老朽化が進んでおり、緊急性の高いものから順に、外壁、屋根、照明関係、ボイラーなど、修繕・改修工事等を実施している。			

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

48	図書館事業			主 管 課	生涯学習課	
		決算額	13,515 千円	有効性	費用対効果	必要性
	2	2	3	4		
	活 動 内 容	市民の学習施設として、図書の充実と施設の維持管理に努めている。図書館運営については、鷹巣図書館で試行的に開館時間の時間延長を実施し、利用者のサービス向上に努めている。				
	点検・評価	<p>市内図書館・図書室等と県立図書館など相互協力を図り、住民の学習や必要な情報提供に努め、利用の促進を図った。</p> <p>鷹巣図書館では17時から19時まで、開館の時間延長を試行中であり、1日平均20人ほどの利用があった。</p> <p>また、鷹巣図書館のボランティア「たまてばこ」が毎月1回のペースで子供たちに読み聞かせ会を実施し、低学年の読書活動の向上に努めている。</p> <p>市内図書館のネットワーク化により連携と迅速で正確な管理運営ができた。図書資料について、図書館協議会や利用者から意見をもらい充実に努めた。</p> <p>今後も県立図書館の指導を受けながら、PR活動や利用者サービスを十分考慮した図書館運営に努めます。</p>				

49	学童保育施設整備事業			主 管 課	生涯学習課	
		決算額	59,598 千円	有効性	費用対効果	必要性
	2	2	3	4		
	活 動 内 容	米内沢放課後児童クラブの建設で、実施設計・工事・及び土地購入した。				
	点検・評価	児童が安心して集える施設として88人が利用し、安全・安心な教育環境が確保された。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

50	放課後児童健全育成事業	57,039千円	主 管 課	生涯学習課		
			有効性	費用対効果	必要性	方向性
	2	2	3	4		
活動 内 容	学童保育事業、14児童クラブ実施（うち5クラブ社会福祉協議会に運営委託）。 鷹巣小児童クラブ、鷹巣東小児童クラブ、鷹巣西小児童クラブ、綴子小児童クラブ、鷹巣中央小児童クラブ、鷹巣南小児童クラブ、合川東児童クラブ、合川児童クラブ、合川北児童クラブ、米内沢児童クラブ、うらやま児童クラブ、前田児童クラブ、阿仁合児童クラブ、大阿仁児童クラブ。					
点検・評価	鷹巣地区6クラブ、合川3クラブ、森吉3クラブ、阿仁2クラブ、計14か所に開設。登録児童数は555人となっている。 就労家庭への支援事業である学童保育は、児童が安心して集え異年齢児との交流や、放課後子ども教室との連携により児童の健全育成が推進された。					

51	放課後子ども教室推進事業	4,675千円	主 管 課	生涯学習課			
			有効性	費用対効果	必要性	方向性	
			3	3	3	4	
活動 内 容	放課後子ども教室推進事業 13教室実施。 いきいきタイム（鷹巣、栄、綴子、沢口、七日市、西部、合川東、合川西、合川北、米内沢、前田、阿仁合、大阿仁）延べ参加人数 15,797人 子どもたちの体験事業を実施し「ふるさと教育」の推進を図った。						
点検・評価	児童クラブ、児童館との連携が深まり子どもたちが参加しやすい環境ができ、体験を通じ普段でも遊びを工夫できるようになった。 また、子どもたちが何事にも興味をもって取り組めるようになった。						

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

52	学校支援地域本部事業			主管課	生涯学習課	
		決算額	3,057千円	有効性	費用対効果	必要性
		3				
		活動内容				
		市内の小・中学校を対象に地域で学校を支援する活動を実施。実施校は鷹巣東小学校、綴子小学校、鷹巣中央小学校、前田小学校、合川小学校、阿仁合小学校、鷹巣南中学校、合川中学校の8校。単独実施校は大阿仁小学校、鷹巣南小学校。 学校の要望にあわせ、地域の人材を活用し、環境の整備、学習支援、クラブ活動の支援、体験活動や地域探検など、様々な分野に地域の支援を行うことができた。				
		点検・評価				
		学校と地域が協力・連携することで、地域住民が学校行事等へ支援し、参加協力ができた。環境整備、登下校時の安全確保、育林活動、伝承芸能、ふるさと学習、読み聞かせ活動等、様々な学校の活動を支援した。 学校の実情にあわせたきめ細かな支援活動を実施し、地域と学校との連携がより強化された。地域の持っている知恵や経験を子どもたちに活かすことで、新たな地域の人たちの生きがいづくりにもつながり、学校と地域の双方の相乗効果が現れた。				

53	青少年育成事業			主管課	生涯学習課	
		決算額	592千円	有効性	費用対効果	必要性
		2				
		活動内容				
		青少年育成北秋田市民会議、少年保護育成委員会の活動について、年間計画に基づき活動をされ、地域への非行防止の意識も浸透している。 青少年問題協議会の開催については、「青少年を取り巻く状況について」北秋田署から講話ををしていただき、少年事件やネット被害の問題について、各団体で問題意識を共有した。				
		点検・評価				
		青少年の健全育成を推進するため、共通の課題解決に向けて、情報を共有し青少年問題や非行防止の取り組みを図った。各団体が地域の環境浄化や青少年の非行防止活動に取り組み効果を上げている。				

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

54 文化会館管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	40,849 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動 内 容	市民が進んで芸術文化の鑑賞や文化活動に参加できるよう施設の維持管理の充実を図った。また自主事業等の実施で、優れた芸術文化作品に触れる機会の提供を図った。				
点検・評価	<p>適切な維持管理や保守点検等を行うことにより、市民の方々が安心して利用できる施設や設備を維持できた。</p> <p>自主公演事業では、音楽公演やシネマ鑑賞、民謡、演劇など、より親しめるイベントなど集客に努めた。</p> <p>また、市の文化祭の開催や市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。</p>				

55 文化会館改修事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	36,744 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動 内 容	平成25年度防水改修工事（1階屋上）・屋根改修工事（南面・西面） 舞台照明設備・吊り天井耐震補強工事・ボイラー改修工事（図書系）を実施し、施設の安全性確保のための整備を実施した。				
点検・評価	施設・設備の改修を行うことにより、施設の安全性がより確保され、市民が芸術文化に触れ楽しんでもらうための安全・安心性の向上に努めた。				

56 みちのく子ども風土記館管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	364 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動 内 容	故渡辺喜恵子氏の顕彰館及び市民の交流と活動の拠点として利用されており、施設の維持管理を実施し、利用の向上に努めた。				
点検・評価	各団体の活動の場として多く利用され、芸術文化活動の拠点となっている。平成25年度は故渡辺喜恵子氏の生誕100周年にあたることから、記念講演と記念展示を実施した。今後もより多くの市民や団体に利用してもらうよう、PRも図っていきたい。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

57 浜辺の歌音楽祭開催事業	主 管 課			生涯学習課	
	決算額	341 千円	有効性	費用対効果	必要性
			2	2	3
	活動 内 容	成田為三先生の業績の顕彰と作品を後世に引継いでいくため、幼時から一般合唱団を対象とした音楽祭を毎年開催している。 参加団体：22団体			
点検・評価	成田為三先生の作品がより身近になり、各団体の発表の場を設けることで相互の音楽活動の資質向上が図られた。				

58 浜辺の歌音楽館運営事業	主 管 課			生涯学習課	
	決算額	7,377 千円	有効性	費用対効果	必要性
			2	2	3
	活動 内 容	成田為三先生の業績や作品を後世に引き継いでいく、音楽博物館として施設の維持管理を行っている。			
点検・評価	第87回定期演奏会では、白石光隆氏のピアノコンサートを実施し、入館者からも好評価であった。 音楽館として、成田為三先生に関連した本物の音楽に触れる機会を継続していきたい。平常の入館者数は多くはないが、音楽博物館として資料の充実に努めていきたい。				

59 文化祭開催事業	主 管 課			生涯学習課	
	決算額	2,000 千円	有効性	費用対効果	必要性
			2	2	3
	活動 内 容	北秋田市の芸術文化の祭典として、展示部門と演示部門を実施し、運営については文化祭実行委員会に運営費を補助している。			
点検・評価	演示部門・展示部門で出演・出展団体同士の相互の連携により、文化活動の活性化と振興が図られた。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

60	旧根子小学校解体工事事業			主 管 課	生涯学習課	
	決算額	18,345 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	1
	活動 内 容	校舎の老朽化による解体（解体面積 約 500 m ² ）を行い、根子番楽伝承館（体育館）のトイレの改修工事を行うことで、伝承活動の支援と鑑賞者の利便性の向上を図る。				
	点検・評価	老朽化した危険な校舎を解体することで、根子番楽伝承館での伝承活動が安全になるとともに駐車場として活用することで利便性も向上する。 また、トイレを新しく設置することで利用者への改善が図られる。				

61	史跡伊勢堂岱遺跡環境整備事業			主 管 課	生涯学習課	
	決算額	164,359 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内 容	平成 23 年度～27 年度までの 5 カ年事業で、遺跡の見学環境整備とガイダンス施設の建設を実施することで、世界遺産登録に向け着実に準備を進めた。 ①環状列石保存処理委託 ②ガイダンス施設実施設計委託 ③地形測量業務委託 ④用地測量業務委託 ⑤地質調査業務委託 ⑥見学環境整備工事（盛土、芝生、園路等の設置工事）				
	点検・評価	伊勢堂岱遺跡について、環境整備として石の保護や遺跡の盛り土等を実施した。遺跡及びその周辺の環境整備を行うことにより、見学者の利便性が向上し、世界遺産登録に向けた取り組みに弾みがついた。				

62	胡桃館遺跡埋蔵資料館管理事業			主 管 課	生涯学習課	
	決算額	124 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内 容	胡桃館遺跡埋蔵資料館の維持管理を実施することにより、国指定文化財の胡桃館遺跡の出土遺材の保存・保護に努めた。				
	点検・評価	出土遺材保存管理を行うことで、出土品の風化・劣化を防ぐことができた。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

63	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業			主 管 課	生涯学習課	
	決算額	626 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	5
	活動 内 容	北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録を目指し、パンフレット作成、フォーラムの開催、P R活動など情報発信の推進に努めた。 ①世界遺産登録推薦書作成事業負担金 264,928 円 ②推進会議旅費				
点検・評価	世界遺産登録に向けた推進事業の経費を負担することにより、事業の円滑な執行を図り、遺跡の価値や情報の発信に努めた。					

64	文化財保護事業			主 管 課	生涯学習課	
	決算額	1,761 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内 容	文化財保護審議会委員による貴重な文化財の保護に対する意見や、と文化財保護に係る維持管理や修繕に努めた。 ①長岐邸屋根トタン修理 ②長岐邸トイレガラス修理 ③ハーランド体育館消火栓修理 ④阿仁青銅大仏修繕				
点検・評価	文化財保護審議会の開催や文化財の金家、長岐邸、根子番楽伝承館等の維持管理を行うことで、文化財の保護と見学などの活用が図られた。					

65	縄文まつり開催事業			主 管 課	生涯学習課	
	決算額	300 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	5
	活動 内 容	第13回北秋田市縄文まつりを開催し、伊勢堂岱遺跡などの情報発信と各種の体験事業を行った。 体験事業:①勾玉づくり ②火おこし ③土器づくり ④縄文記念写真 ⑤的当て ⑥縄文料理				
点検・評価	縄文まつりを開催し、縄文文化をより広く市内外の人に知ってもらうことで、参加者の交流や伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた機運を高めることができた。					

有効性 · · · · 1 = 期待以下の成果 2 = 期待どおりの成果 3 = 期待以上の成果

費用対効果 · · · 1 = 課題あり 2 = 予定どおりの費用対効果 3 = 予想以上の費用対効果

必要性 · · · · 1 = 必要性が低い 2 = 必要性が高い 3 = 必要不可欠

方向性 · · · · 1 = 廃止・休止 2 = 縮小 3 = 統合 4 = 繼続 5 = 拡大

66	北秋田市民俗芸能大会事業			主管課	生涯学習課				
		決算額	421千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性		
		2					2	2	4
	活動内容	北秋田市に伝承されている、民俗芸能等を広く市民に公開するとともに、民俗芸能伝承活動とあわせて技量の向上に努めた。 出演団体：①森吉山麓火まつり太鼓 ②阿仁からめ節 ③福田獅子舞 ④上杉大名列（上杉駒踊り） ⑤前山郷土芸能（前山奴踊り）							
	点検・評価	民俗芸能伝承の振興を図り、民俗芸能団体へ発表の場を提供することにより、貴重な民俗芸能の保存・伝承活動の支援が図られた。							

67	合川野球場トイレ改修工事事業			主管課	スポーツ振興課			
		決算額	9,188千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性	
		2					3	1
	活動内容	老朽化した2箇所の汲み取り式トイレを解体し、旧合川高校の部室（女子部）を再利用するため、屋根の防水及び外壁の塗装と6つに分かれていた部室を両脇の2つをそれぞれ1つにして、男子トイレ（大3. 小4）と女子（3）とし、内側の2つを多目的トイレ（1）の水洗トイレに改修することで、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。						
	点検・評価	既存の老朽化したトイレを解体し、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレに分かれ、水洗トイレとなり、利用者の安全と衛生面が確保され、建物を再利用することにより事業費を抑えることができた。						

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

68	鷹巣陸上競技場 トラック補修工事事業	主 管 課	スポーツ振興課		
決算額	1,155 千円	有効性 2	費用対効果 2	必要性 3	方向性 5
活動 内 容	部分的に膨れたトラックの走路の補修をすることで、利用者の安全性を確保する。				
点検・評価	走路の膨れによる危険箇所の解消により、競技大会が円滑に運営され、利用者の安全と利用環境が改善された。 平成26年度に、トラックの走路及びインフィールドの全面改修及び管理棟の改修工事を予定している。				

69	北秋田市民プール指定管理事業	主 管 課	スポーツ振興課		
決算額	18,500 千円	有効性 2	費用対効果 2	必要性 3	方向性 4
活動 内 容	平成 20 年 7 月 15 日より指定管理者制度を利用した、北秋田市民プールの管理運営事業。				
点検・評価	人口減少に伴い、体育施設の利用者が減少している中、北秋田市民プールは、健康志向の高まり、市民ニーズに合った各種教室の開催等により、利用者が増加しており市民の健康増進と施設の維持管理費削減が図られた。				

70	薬師山スキー場指定管理事業	主 管 課	スポーツ振興課		
決算額	3,500 千円	有効性 2	費用対効果 2	必要性 3	方向性 4
活動 内 容	指定管理者制度を利用した、薬師山スキー場指定管理運営事業。				
点検・評価	指定管理により、地域住民及び学校等の利用者に安全で快適な環境を提供することで、冬季における市民の健康維持・増進と施設の維持管理費削減が図られた。 しかし、施設の機器、機材等の経年劣化、スキー人口の減少傾向による営業収入の減等、指定管理者側の経営努力だけでは対応が難しくなっており、今後は市財政支出の増加が見込まれる。				

有効性・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

71	北秋田市体育協会補助金事業			主管 課	スポーツ振興課	
	決算額	1,000 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内容	北秋田市体育協会の円滑な活動・運営のため補助金を交付し、スポーツの振興を図る。				
点検・評価		<p>北秋田市体育協会に加盟する24団体への強化普及・育成支援により地域スポーツの活性化が図られた。</p> <p>また、北秋田市スポーツレクリエーション大会、北秋田市スポーツ賞表彰式を主催し、北秋田市のスポーツ振興を図るうえで重要な役割を果たした。</p> <p>さらには、大会運営及び国体出場選手への支援によりスポーツの振興に貢献した。</p> <p>今後も北秋田市のスポーツ振興のために、事業の継続が望まれる。</p>				

72	北秋田市スキーダイバーチンプ事業			主管 課	スポーツ振興課	
	決算額	1,900 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	4
	活動 内容	北秋田市スキーダイバーチンプ事業実行委員会が実施するスキーダイバーチンプ事業を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価		<p>第66回大館・北秋田中学校スキーダイバーチンプ大会（21人）、第59回北秋田学童スキーダイバーチンプ大会（166人）、第7回北秋田市民スキーダイバーチンプ大会（214人）、第49回大館・北秋田スキーダイバーチンプ大会（31人）を開催し、スポーツの振興及び青少年の健全育成が図られた。</p> <p>今後、大館・北秋田中学校スキーダイバーチンプ大会の運営について、協議が必要と思われる。</p>				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

73	100キロチャレンジマラソン大会補助事業		主 管 課	スポーツ振興課	
	決算額	3,000 千円	有効性	費用対効果	必要性
	活動 内 容				
	大会運営のため補助金を交付し、円滑な大会運営と参加者の交流及び地域の活性化を図る。				
	点検・評価				
	第23回大会に、県内外から100キロの部に1,323人、50キロの部に399人、合計1,722人のランナーが参加し、秋田県始め、仙北市、北秋田市、上小阿仁村、自衛隊、消防、企業、ボランティア（約2,800人）の協力により実施され、成功裡に終了した。 地域のイベントとして定着しており、経済効果とともに参加ランナー及び地域住民の交流と地域の活性化が図られた。 今後も事業を継続をするためには、大会事務局の組織強化と大会継続に向けた知恵を出していくことが必要である。				

74	第34回県民歩くスキーのつどい補助事業		主 管 課	スポーツ振興課	
	決算額	360 千円	有効性	費用対効果	必要性
	活動 内 容				
	つどいの円滑な運営のために補助金を交付し、県民スポーツの振興に寄与する。				
	点検・評価				
	県内の幼児から高齢者までの参加者249人が天候にも恵まれ、それぞれのペースで北欧の杜公園の自然と歩くスキーを満喫した。 また、冬季の体力づくり及び地域の活性化が図られた。				

75	夏井昇吉旗争奪柔道大会補助事業		主 管 課	スポーツ振興課	
	決算額	108 千円	有効性	費用対効果	必要性
	活動 内 容				
	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
	点検・評価				
	合川体育館を会場に毎年開催している第20回夏井昇吉旗争奪全県選抜柔道大会に、中学校男子団体32チーム、中学校女子団体17チーム、市内のスポーツ少年団4チームの合計53チームが参加し、競技のレベル向上と地域の活性化が図られた。				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

76	北秋田市スポーツ少年団補助事業			主管課	スポーツ振興課	
	決算額	300千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	3	5
	活動内容	北秋田市スポーツ少年団活動のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
	点検・評価	<p>登録されている22団の活動育成支援、本部登録者37人、指導者172人、団員799人の各種研修会参加支援及び指導者、育成母集団研修等の活動支援により事業が円滑に運営され、青少年の健全育成が図られた。</p> <p>今後も、北秋田市スポーツ少年団の社会体育化実施に伴い、団数の増加や事業内容の拡大が見込まれる。</p>				

77	北秋田市・上小阿仁村ミニバスケットボール大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
	決算額	90千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
	点検・評価	合川体育館を会場に毎年開催している第8回大会に北秋田市と上小阿仁村から小学校8チームが参加し、青少年の健全育成と競技レベルの向上が図られた。				

78	全県選抜高等学校柔道大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
	決算額	180千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。				
	点検・評価	森吉総合スポーツセンターを会場に、平成10年より毎年開催している第52回全県選抜高等学校柔道大会に男子22校、第16回全県選抜高等学校女子柔道大会に12校が参加し、競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。				

有効性・・・・・1=期待以下の成果 2=期待どおりの成果 3=期待以上の成果

費用対効果・・・1=課題あり 2=予定どおりの費用対効果 3=予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1=必要性が低い 2=必要性が高い 3=必要不可欠

方向性・・・・・1=廃止・休止 2=縮小 3=統合 4=継続 5=拡大

79	北秋田市民水泳大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
	決算額	100 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。					
点検・評価	北秋田市民プールを会場に、北秋田地域の水泳競技の普及と水泳の底辺拡大を図ることを目的に開催された第3回北秋田市縄文水泳競技大会に、市内外から176人が参加し、競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。					

80	小・中学校バスケットボール大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
	決算額	108 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。					
点検・評価	合川体育館を会場とし、毎年開催している平成25年度北秋田市・北秋田郡中学校新人バスケットボール大会に中学校男子2チーム、中学校女子4チーム、第19回合川招待女子小・中学校バスケットボール大会に小学校ミニバス8チーム、中学校女子招待校6チームが出場し、競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。					

81	第37回全県選抜高校女子ソフトボール選手権大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
	決算額	135 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	1
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、事業の円滑な運営を図る。					
点検・評価	<p>毎年、米代河川緑地ソフトボール場を会場として開催していたが、8月の豪雨災害により米代河川緑地ソフトボール場が使用できなくなり、森吉野球場と合川野球場で開催しました。</p> <p>平成7年より毎年開催しており、第37回全県選抜高校女子ソフトボール選手権大会には選抜された8校が参加し、この大会を通して競技レベルの向上及び地域の活性化が図られた。</p> <p>しかし、北秋田市ソフトボール協会は、平成26年度から全県選抜高校女子ソフトボール選手権大会開催を中止することに決定した。</p>					

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大

82 チャレンジデー2013実行委員会補助事業	107 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	5
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、市民の健康維持・増進と事業の円滑な運営により、地域活性化を図る。				
点検・評価	<p>初参加のチャレンジデー2013の目標参加率を50%に掲げていたが、市民全體への周知が不十分であったため、北秋田市の参加率22.9%、参加者数8,248人と目標に届かなかった。</p> <p>市内の保育園、小・中学校、高校の積極的な参加協力をいただいており、今後は自治会・町内会、各企業等への周知を徹底することで参加率アップを目指す。</p> <p>チャレンジデーに多くの市民が参加することで、市民の健康維持・増進と地域活性化につながることから、今後も事業の継続が必要である。</p>				

有効性・・・・・1 =期待以下の成果 2 =期待どおりの成果 3 =期待以上の成果

費用対効果・・・1 =課題あり 2 =予定どおりの費用対効果 3 =予想以上の費用対効果

必要性・・・・・1 =必要性が低い 2 =必要性が高い 3 =必要不可欠

方向性・・・・・1 =廃止・休止 2 =縮小 3 =統合 4 =継続 5 =拡大